

# 人工光型植物工場用光源の 開発ポイントと今後の展望

受講料

10,000円

※コンソーシアム会員は5,000円（人数制限なし）

定員

30名（定員になり次第締切）

会場

I-siteなんば C1

大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号 南海なんば第1ビル2階

2018年

10/18 木

13:30～16:45

スケジュール

13:30～14:00 セミナーの趣旨とプログラム説明 大山 克己  
(大阪府立大学 植物工場研究センター特認准教授)

14:00～14:30 植物育成用LEDの選び方とウシオグループの取り組み 久綱 健史  
(ウシオ電機株式会社 技術統括本部新規開拓室)  
「どんなLEDを選べばよいのか？」植物育成用LEDについてよく聞かれる質問である。このような疑問に対し客観的な視点からLED選びのポイントとウシオグループの取り組みや製品の特長について紹介する。

14:30～15:00 共立電照の植物育成用LED光源 佐藤 宏幸  
(株式会社共立電照 照明事業部)  
弊社の植物用LED光源は2点の特徴がある。1点目は、照明内部の特殊構造により、栽培面への均一な配光を得ている。2点目は、植物専用開発したLEDにより、植物と人の双方に優しい光を実現している。

15:15～15:45 植物工場用LEDパッケージの選定 内藤 壮介  
(マイクロコーテック株式会社 代表取締役)  
当社は、一般照明だけではなく、植物工場向けの照明を開発および販売している。その性能や価格から、これまでにいくつもの大規模な植物工場に導入実績がある。ここでは、設計思想や製品のラインナップを紹介する。

15:45～16:45 パネルディスカッション  
コーディネーター：増田 昇  
(大阪府立大学 名誉教授 植物工場研究センター長)  
パネラー：久綱 健史、佐藤 宏幸、内藤 壮介

お申し込み・

お問い合わせ先

大阪府立大学 植物工場研究センター事務局

www.plant-factory.osakafu-u.ac.jp ☎ 072(254)9409

